

市内で新型コロナウイルス感染のため臨時休園続発

皆さんにお知らせしましたように、日本全国の保育園や学校は新型コロナウイルス感染の拡大の為次々に休園や休校が相次いでいます。名古屋市内はその後 150 ヶ園が臨時休園となり、非常にひっ迫した状況になっています。ののかぜ保育園もいつ休園になってもおかしくない状況になっています。名古屋市から出されている2月13日までの登園自粛期間で都合がつく家庭は登園を控えていただくようご協力をお願いします。

現在保育園では2月3日の節分に向けて準備はしていますが、こういった形で節分をするか、また節分が出来るかどうか不明なところもあります。



こういった形にせよ、みんなが健康で幸せに過ごすことが出来るよう節分を迎えて行きたいと考えています。

命のはなし

子どもたちに、命が産まれてくることの素晴らしさと、その命を大切にしてほしいという思いから、助産師の山形さん（どんぐり保育園OB）に保育園に来てもらい、「命のはなし」を5歳児さくらさんたちを対象に行いました。

あかちゃんが生まれてくるまでの話や、あかちゃんの心音を聞かせてもらったり、はがき大の黒画用紙に針で穴をあけたものが手渡され、「この小さな穴、自分の最初の体の大きさだよ」と教えてもらうと「え〜!？」と驚いている子どもたちでした。

そして、このあかちゃんが少しずつ大きく、そして重くなっていく実物大のモデルを見せてもらいながら、実際に抱っこし、あかちゃんの重さを感じとっていた子どもたちでした。

子どもたちは、「生まれてくるときあかちゃんが一番がんばった」「黒い点（あかちゃん）があんなにちいさかったんだとおどろいた」など感想を出し合っていました。

家に帰ってから、親子で生まれてきた時のことなど話し合われたようで、会話の中で「すごく長かったから思い出せない」と言いつつお母さんをぎゅーっと抱きしめてくれたとか、自分とお母さんとがつながっていたへその緒を見せてもらった話などお家からの感想もいただきました。

山形さんから、「親子で話ができた感想を読むと、本当によかったなあと思います。お子さんの中に何かしら一つでも残ってくれると嬉しいなあと思います。」というお返事を頂きました



/// 山形さんから子どもたちへのメッセージ ///



- ・一人ひとり、待ち望まれて生まれてきた世界でたった一つの大切な宝物である。
- ・お母さんのおなかの中で10カ月いて、頑張って生まれて来たこと。
- ・命を大切にすること。それは自分自身を大切にすること。
- ・まわりの人のことも大切にすること。